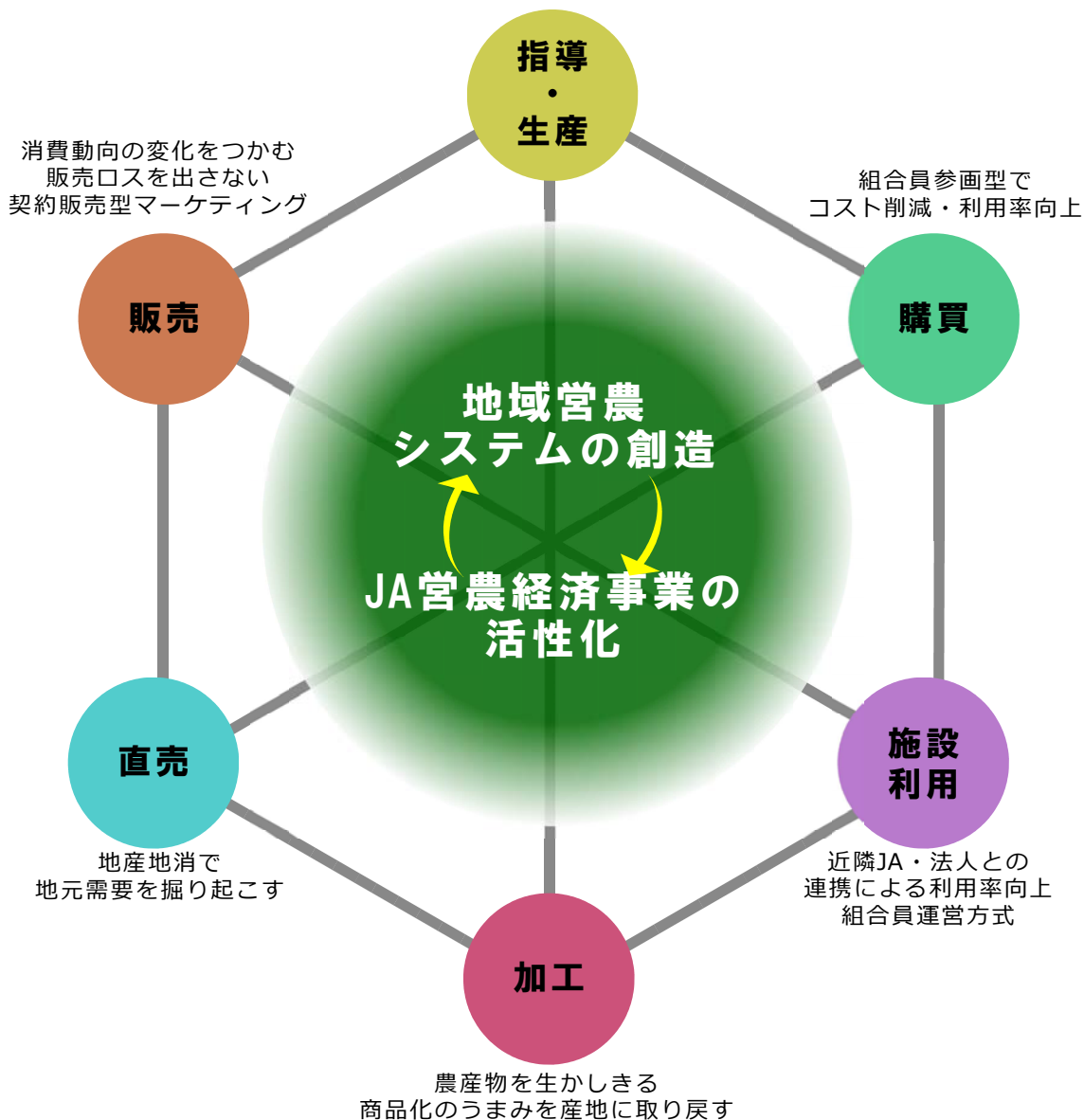


営農・経済事業の自己改革を追求する

JA総合営農研究会 に参加しませんか？

多様な生産者の掘り起こしと対応
実需を意識した生産指導



農業協同組合の基本事業である営農経済事業に取り組む全国のJA役職員同士が課題や悩みを共有し、研鑽し合う実践交流の場。貴組合にぜひご参加いただけるよう、心より呼びかけます。

JA総合営農研究会 

<https://ja-it.net>



課題を共有し研鑽し合う 公開研究会

営農経済事業の先駆的事例を学びあうとともに、現場の課題・悩みを語り合い、相互に研鑽します。東京・JAビルで年3回（通例6月、11月、2月）開催。2025年2月現在まで67回の公開研究会を積み重ねてきています。

〈最近の開催テーマ〉

- 第67回（2025年2月） 転機を迎えた水田農業・米産業と産地戦略を考える
- 第66回（2024年11月） 地域を育てる営農経済戦略
- 第65回（2024年7月） 農産物直売所 原点とこれから
- 第64回（2024年2月） 組合員手取り最優先がJA営農経済事業の原点
- 第63回（2023年11月） 青果物の消費・流通の変化と加工業務用野菜
一産地戦略を考える
- 第62回（2023年6月） 食と農の変貌とJAの役割
- 第61回（2023年2月） 経営コスト高騰と農業経営
- 第60回（2022年11月） 農業・農村を支える多様な担い手の胎動とJAの役割
- 第59回（2022年6月） JA農業経営コンサルティング
一個別経営支援の取り組みと課題
- 第58回（2022年2月） 未来に向けて 多様な担い手をどう支えるか
- 第57回（2021年11月） 農業と農村・環境との調和にむけた農協のあり方
新たな流通システムに対応した経済活動の変革
- 第56回（2021年6月） 農業と地域の調和 いまこそ農協の出番！
- 第55回（2021年2月） JA営農経済事業改革の新戦略をさぐる Part3
- 第54回（2020年2月） JA営農経済事業改革の新戦略をさぐる Part2
- ：
- 第50回（2018年10月） 農協の使命と可能性
- ：
- ：
- 第2回（2001年11月・於蓮平温泉、JA越後さんとう本所）
水田地帯でのJA営農関連事業の創出を考える
- 第1回（2001年9月・於妙技グリーンホテル、JA甘楽富岡本所）
営農事業の自立を考える
一 営農関連事業の創造と独立採算への視点



★公開研究会の参加費（1人あたり）

会 員：17,000円（同団体2人目以降は14,000円） 非会員：22,000円

JA総合営農研究会とは

JA営農経済事業の革新と地域農業の活性化をめざし、全国のJA役職員が課題を共有しながら先駆的事例を双方向に学び合う研究会です。生産・流通・消費の形態や構造が大きく変化するなか、農協運動の根本理念に立ち返りながら、新しい情勢に対応した新しい営農関連事業を創出することによって、農協の運動と経営を再興する途を探るべく、2001年に設立されました。旧称「JA-IT研究会」。正会員38JA（2025年5月現在）。年3回の公開研究会と年1回の人材養成セミナーなどを中心に活動しています。

指導・生産、販売、購買、施設利用、直売、加工の6事業の好循環を通じ、元気な地域農業の創造をめざしています。



次世代の農産物マーケティング人材を養成 人材養成セミナー

営農・販売部門の若手～中堅職員を主対象に、第一線の講師陣が農産物マーケティングの最新事情や要諦を伝授。商品プレゼンを通じて地域の農産物の魅力を実需者に伝える技術も磨きます。2泊3日の濃密スケジュールで、全国の現場で奮闘する仲間どうしの横のつながりも。



農産物マーケティングの最前線から、充実の講義



開催地は、基幹作目の相次ぐ崩壊の後、少量多品目の周年型産地として再生を果たした群馬県JA甘楽富岡。その実際のオペレーションを現地で学ぶ。インショップ集出荷場にて、「出荷組合員が自分たちで決めたルールを自分たちで守って動くから、JA職員は1人で済む」と聞いて驚く受講生



ひざ詰めで地域・農協の未来を語る

最終日、地域の農産物を模擬プレゼン。この後、講師陣から厳しくも暖かい実践的アドバイスが……



会員

全国38のJA(2025年5月現在)に加え、集落営農・農業生産法人、全国連や各県連、農業・農村・農協の未来に関心を寄せる個人などが参画しています。

正会員 JAながぬま JAいわて花巻 JA大潟村 JA鶴岡 JAふくしま未来 JA甘楽富岡 JA利根沼田 JA北つくば JAちばみどり JAちば東葛 JA富里市 JA横浜 JAはだの JAえちご上越 JA佐渡 JA新潟かがやき JAえちご中越 JA金沢市 JA上伊那 JA中野市 JAみなみ信州 JA松本ハイランド JAぎふ JA遠州中央 JAしみず JAあいち中央 JAひまわり JALレーク滋賀 JAグリーン近江 JA鳥取いなば JAおちいまばり JAえひめ未来 JAふくおか八女 JA福岡市 JAさが JA島原雲仙 JA宮崎県こばやし地区本部 JAそお鹿児島

生産法人会員 農事組合法人となん・株式会社田切農産

団体特別会員 JA全農千葉県本部 (一社)家の光協会

(一社)日本協同組合連携機構(JCA) 全国農業協同組合中央会(JA全中)

全国農業協同組合連合会(JA全農) パルシステム生活協同組合連合会

(一社)農山漁村文化協会 JA愛知県中央会 JA滋賀中央会 JA広島中央会

個人特別会員 24会員



研究会役員



代表委員 黒澤賢治

1950年生。JA甘楽富岡営農事業本部長や役員等を歴任。中山間地帯の基幹作目の相次ぐ崩壊を経験し、地域営農システムの再構築に奔走。多様な人材・地域資源を活用した少量多品目生産の周年型産地、365日型インショップのマーケティングシステムなどを実践。



副代表委員 吉田俊幸

1948年生。(一財)農政調査委員会理事長ほか。米の生産・流通・消費を専門に研究。近著に『米産業は生き残れるか』(共編著)。



副代表委員 仲野隆三

1949年生。JA富里市常務理事など歴任。加工・業務用野菜の生産と取引拡大、生産者の組織化を牽引した。

企画委員

中原純一(協同組合懇話会顧問、元農林中金、農文協理事)

前澤憲雄(一社・日本きのこマイスター協会 理事長)

関良男(JA全農茨城県本部 生活総合リテール部 ポケットファームどきどきつくば牛久店)

鈴木富隆(JA全農 耕種総合対策部部长)

福留均(農文協 常勤理事)

運営委員

小原卓志(JAいわて花幕 常務理事)

飯野知(JA甘楽富岡 営農部営農購買課直販センター長)

工藤友明(パルシステム生活協同組合連合会 産直事業本部
本部長兼第2事業部長)

岩崎健二(JAえちご上越 常務理事)

木下雅夫(JAみなみ信州 営農部次長兼担い手支援室長)

佐々木真(JA中野市 常務理事)

紫芝勉(株田切農産 代表取締役)

亀田英喜(JA金沢市 営農経済担当常務)

渡邊智和(JAぎふ 営農部長)

吉田三晃(JA遠州中央 営農企画部長)

牧野延全(JAひまわり 営農部営農企画課課長)

川端均(JAレーク滋賀 常務理事)

中江吉治(JAグリーン近江 代表理事副組合長)

加藤孝司(JAおちいまばり 営農振興部 部長)

大隈俊英(JAふくおか八女 東京営業所所長)

寺師幸則(JAこばやし 代表理事組合長)

森満彰(JAそお鹿児島 経済担当常務)

会員資格・入会について

年会費 (入会金はありません)

※年度は4月～3月です。

正会員 20,000円 *単位農協(県1JAについては地区事業本部等)

生産法人会員 5,000円 *集落営農、農業生産法人

団体特別会員 50,000円

個人特別会員 5,000円

入会お申し込み ①研究会サイト(<https://ja-it.net/>)にアクセス ②画面右下の**JA総合営農研究会にご入会ください**ボタンをクリックし、入会案内画面に進む ③画面下部の**入会申込書**ボタンをクリックし、申込書をダウンロード ④ご記入のうえ、事務局宛にメールかFAXでお送りください。

資料請求・お問い合わせは JA総合営農研究会 事務局まで

～全中・全農・農文協の3団体で事務局を構成しています～

●全国農業協同組合中央会(JA全中) 営農・担い手支援部 営農企画課内

●全国農業協同組合連合会(JA全農) 耕種総合対策部 統括課内

●一般社団法人農山漁村文化協会(農文協) 経営局内

〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田2-2-2 ☎048-233-9336 📠048-299-2815 ✉info@ja-it.net